

概況(図1, 表1)

4月6~7・9日に房総丸(110ト)で沿岸定線観測を行った。黒潮流路は遠州灘沖 33°30'Nを東進した後、三宅島を通過し、房総沖を北東へ流れ、流型はN型であった。黒潮の離岸距離は野島埼南東方では「平年並」、犬吠埼南東方では「やや接岸」であった。

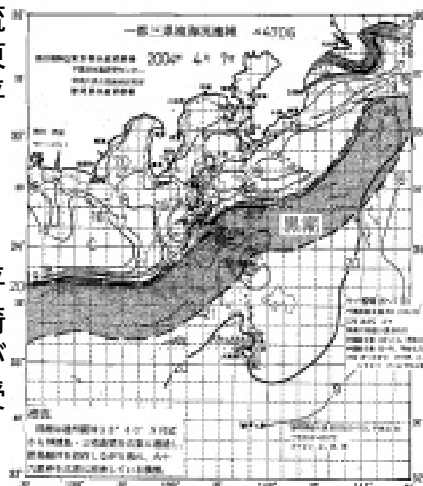


図1 一都三県漁海況速報

水温(表2, 図2・3・5)

海面では11~20, 100m深では12~19, 200m深では13~17であった。外房海域は概ね「やや高め」、銚子・九十九里海域は概ね「平年並」であった。平年偏差は、全観測層で正の偏差となったが、犬吠埼南東方の観測点(海面)では-3.1を観測した。これは三陸・常磐海域が親潮系冷水により低温傾向にあったことから、隣接点も同様の影響を受けたと考えられる。

塩分(図4・5)

海面では32.6~34.8, 100m深では34.4~34.8, 200m深では34.5~34.8であった。犬吠埼南東方の観測点(海面)では32.6という低い塩分が観測されたので、犬吠埼周辺まで親潮系冷水が南下していたと考えられる。

表1 房総沖の黒潮離岸距離(2004年4月)

基点方向	距離(マイル)	階級
野島埼南東	45	平年並
太東岬南東	35	-
犬吠埼南東	(35)	やや接岸

\* (数字)は毎羊速報(海上保安庁 海洋情報部)より

表2 水温の評価(2004年4月)

水深(m)	外房海域			銚子・九十九里海域		
	水温	平年偏差	評価	水温	平年偏差	評価
0	19.0	1.9	やや高め	16.6	0.9	平年並
50	17.14	1.21	平年並	17.16	1.52	やや高め
100	16.84	1.73	やや高め	15.22	1.10	平年並
200	15.01	2.09	やや高め	13.33	1.15	平年並

\*水温は各海域の評価点の平均値

流況(図1・2)

沖合域では2ノット以上の流れがみられ、流向は概ね北東~東向きであったが、野島埼南東方沖合には、1.6ノットの南下流を確認した。

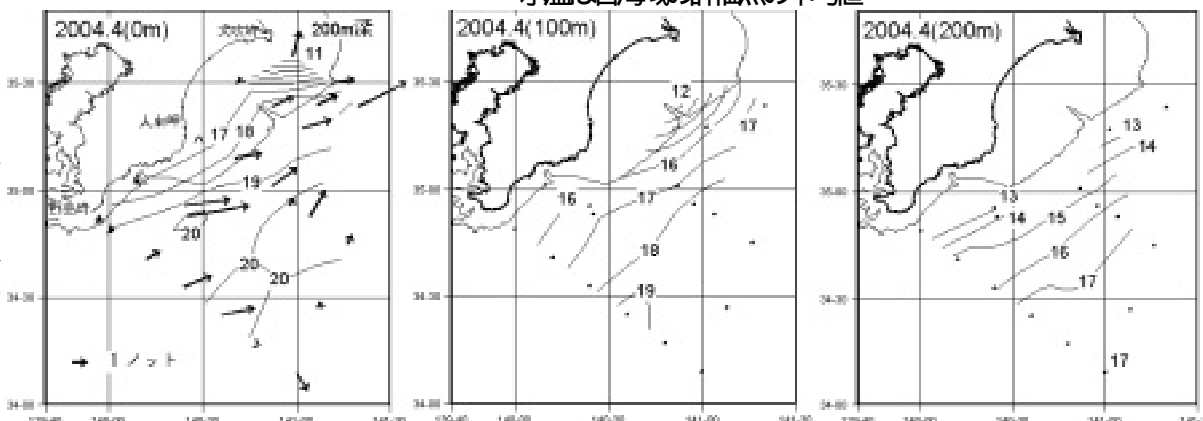


図2 水温と流向流速(5m深)の水平分布

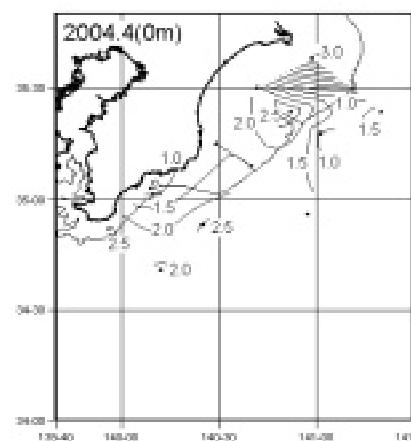


図3 水温の平年偏差

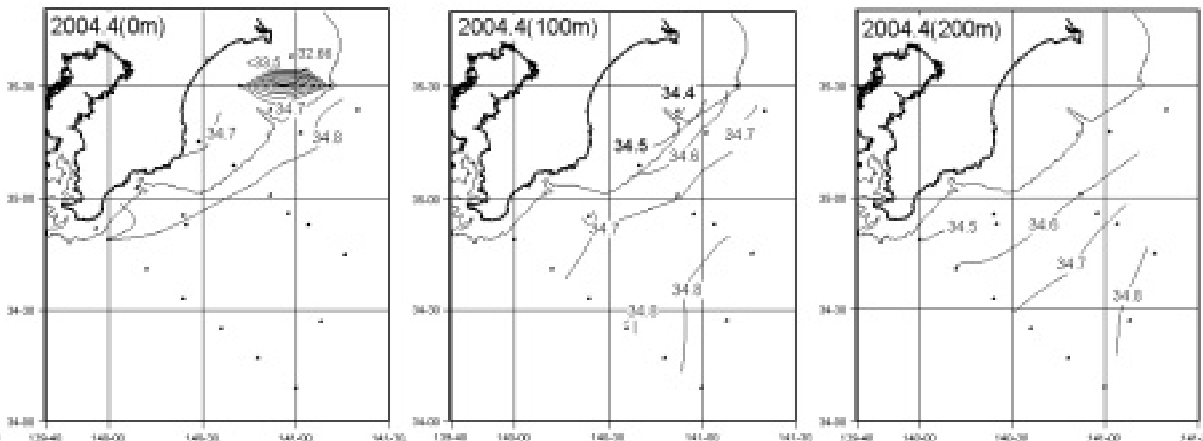


図4 塩分の水平分布

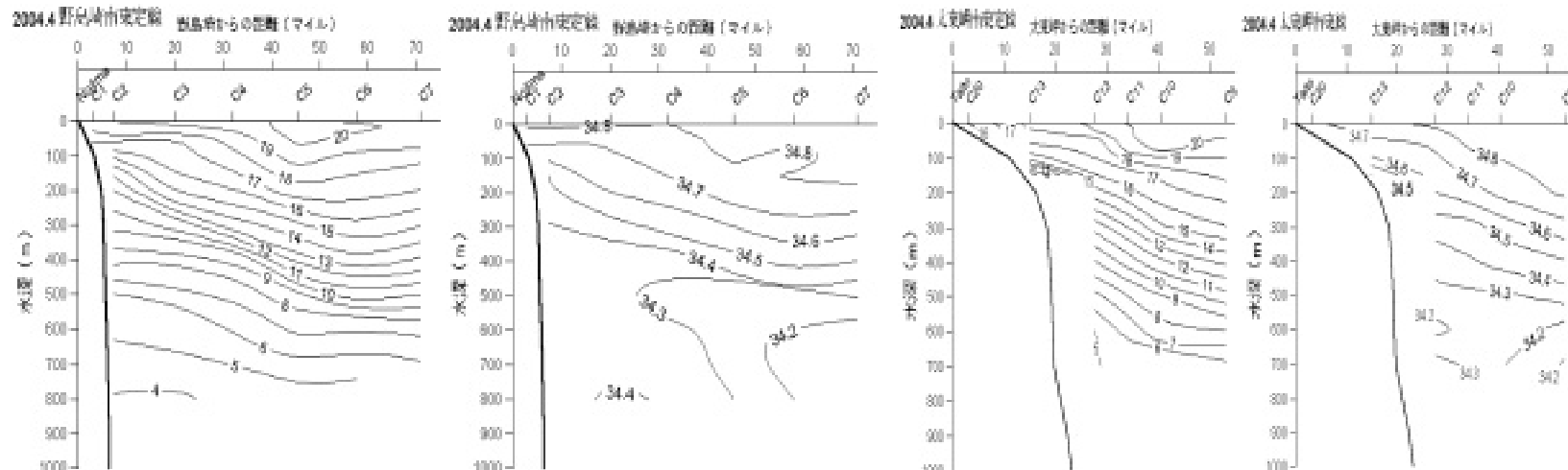


図5 水温と塩分の鉛直分布